

# 大手前新聞

創刊  
2018年(平成30年)  
佐伯市役所  
大手前開発推進室  
☎0972-22-4623

## 開館プレイベント



さくらどどんの様子(よろうや仲町)

援極て共まへ  
的感向私  
協のなづく  
力行す生く  
よ動。んり  
ろをこで  
し行れい  
くつか  
くおつ  
てらも  
願ひき  
いしま  
しすの  
で、動  
や動  
心  
に  
積  
に

### さくらどどん

開館9月7日、さいき城山桜ホール。あんどく大手前プレイベントとして、さくらどどんを開催いたします。会場は、約200名の方々が参加される予定です。お祭り気分を味わってほしいと思います。ご来場お待ちしております。



## 2020年 開館に向けて

## さいき城山 桜ホール

完成予想図

### さいき城山桜ホール 運営委員会

開館後の運営について、関係各機関と協議を進めています。来年度から開催される「さくらどどん」の開催も予定されています。



令和元年9月18日 国道217号歩道橋から撮影

## 建設現場

建設現場の様子が、国道217号歩道橋から撮影されています。建物の骨組みが徐々に完成してきています。

### 舞台機構・照明・音響設備

本ホールには、最新の舞台機構、照明、音響設備が導入されています。多目的ホールとしての機能を十分に果たすことが期待されています。



子ども・市民ミュージカルの様子(佐伯文化会館)

### 特集 諸室案内 vol.2

#### 【多目的ホール(大)】

幕形式時のホールの特徴  
幕形式時には、主舞台を間口約14.4m×奥行約9m程度とし、そこへ様々な演出が可能な舞台機構、照明、音響設備を設置します。袖舞台を両側に設け、大人数の出演者が転換用の大道具収納が可能で、伸びたサイドバルコニー席は、舞台の魅力的な座席であることが、舞台からも観客の様子がよく見取れます。客席のうち舞台に近い5列の座席を収納してオーケストラピットとすることが可能で、ミュージカルやオペラなどの演目にも対応します。



佐伯市子ども・市民ミュージカル 肥川小町

### 佐伯がいちばん!

私たち佐伯市子ども・市民ミュージカルは、今年で6年目を迎えました。小学一年生から大人までの幅広い層のメンバーで構成され、応援してくださるたくさんの方々、に支えられながら舞台をつくっています。

昨年、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭で披露した「タカラとワカ海を越える軌跡」では、沖縄県で活躍している、ゆいゆいキッズシアターや、プロの歌手・演奏者の方々と共演することができました。また、私たちは、ミュージカルの舞台づくりだけでなく、様々なイベントや、講演会、ワークショップに参加したり、カナダの「AUアンサンブル」のメンバーの方々と、楽器や歌を通して交流することができました。

たくさんの方々の交流を行うことで、自身で感じ、考え、伝えること、表現すること、また、異なる意見を取り入れ、お互いを理解し、認め合うことの大切さを学んでいます。みんなで協力し、つくりあげていく舞台を皆さんに観ていただくことの喜びは、私たちには、とても大切なものです。

来年の秋には、佐伯に新たな文化芸術交流の場となる城山桜ホールが完成します。多くの刺激を与えてくれる音楽や舞台、講演会が行われることも楽しみです。そして、私たちが舞台に立てることを楽しみにしています。

たくさんの方々が佐伯を訪れ、その素晴らしいさに触れてくださいますように、私たちミュージカルの活動と共に、城山桜ホールが、たくさんの方々の笑顔にあふれる場となることを心から願っています。